

黄城



CONTENTS	
特集ようこそ先輩!!	1
会長あいさつ	5
校長あいさつ	5
各支部活動報告	6
卒業50周年を迎えて	8
黄城会総会を終えて	9
後輩からの一言	10
合格だ！優勝だ！	11
会員寄付金の寄付者一覧	12
役員一覧、物故者、一般寄付金	13
会計報告	14
事務局通信	16
発行▶令和5年7月1日	
発行所▶黄城会	
発行人▶古賀 正人	
印刷▶(株)音成印刷	

Ojyo News Letter Vol.53



特集 ようこそ先輩!!

演題 「私が歩いてきた道、これから進むあなたたちへ」

北川 常弘 氏



小城高校黄城会会報「黄城」(通算53号)の巻頭特集「ようこそ先輩!!」は、本校5月小城高校で在校生を対象に講演をされた高校28回卒北川常弘さんのお話を特集しました。

題して「私が歩いてきた道、これから進むあなたたちへ」これまでの経験に基づいた講演内容をじっくり読んでみませんか。

特集

皆さんこんにちは。私は小城高校第28回卒業で、現在神奈川県法政大学法学部特任講師の北川常弘と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

小城公園の桜も散り、葉桜もいいですね。小城公園はまさに、50年前も私たちのデートスポットでした。私は自転車通学でしたが、小城駅を利用する仲間が本数の少ないディーゼルカーに乗り遅れないように、ちよくちよく駅まで乗せて送りました。昔も自転車は二人乗り禁止でしたが…。

私の現在の住まいはサザンオールスターズの歌に出る神奈川県茅ヶ崎です。子どもは3人、男ばかり。孫は小学5年生を頭に5人。皆、男です。(笑)

長男は都内にあるコンピューターを使ったシステム会社の会社員、三男は神奈川県の職員、二男は都内六本木でバーを経営するほか、イベン

ト関係の自由な仕事をしています。三人三様。ひとりも私の仕事を継いだ子はいません。子どもたちにはそれとなく「警察官はどうだ」と誘いましたが、長男からは「俺に警察官はないな」。三男からは「一家に2人はいないだろう」と一蹴されました。

紅一点の妻は、中学、高校の同級生。高校の1年と3年では同じクラスでした。とはいえ高校のときから付き合っていたわけではありません。

さて、皆さん、自分の50年後(2073年)の姿を思い浮かべてください。私と同じ年齢になります。その頃自分がどういう仕事についているのか。どこに住んでいるのか。何をしているのか。

私は、現在66歳、神奈川県警察官を定年退職し、神奈川県法政大学法学部特任講師として教壇に立っています。1976年3月(昭和51年)、ここ小城

高校を卒業しました。私たち28回生には、京都大学をはじめ九州大学、広島大学、長崎大学、熊本大学、佐賀大学などの国公立大学。早稲田、慶応、明治、法政、中央、学習院、同志社、立命館、西南学院等の有名私立大学のほか医学部に進学する同級生もいて、医師や会社の社長、新聞記者、国家公務員のほか、佐賀県庁、小城市役所、小中学校の先生など、多くの仲間がいろいろな職業で活躍しました。

なぜ、私がこの場で皆さんの前でお話するのか? 自分でも良く分かりません。もっとふさわしい人がいると思います。大した学歴もなく、社会的に高い地位であったわけでもありません。

私は小城から都会に憧れ神奈川県で警察官という職業に就き、社会で発生する様々な事件、事故に接してきました。その中でいろいろなこと

を学び、人と縁を結び、運を得て生活を営むことができました。これから皆さんにその話をします。

小城町立三里小学校、小城中学校を卒業した私は、ちょうど半世紀前の1973年（昭和48年）小城高校に入学しました。当時は学区制があり、小城町、三日月町、牛津町、芦刈町、大和町、久保田町、そして多久市などから400人の仲間が集まりました。

高校生活での心残りが、2つあります。

その一つは修学旅行は女子だけ関西方面に行き、男子は行けなかったのです。理由は、数年前の先輩が「旅行先で不始末をしたから」ということでした。もう一つの心残りは、3年生のとき、応援合戦の準備やら燃えに燃えた体育祭で雨が降り途中で中止になったことでした。

私の入学当初の成績は100番から200番くらいだったと思います。

高1のとき、こんなことがありました。数学の試験は100点満点で10数点ばかり続きました。数学の川原先生から、職員室に呼ばれ

「北川、プロ野球の長嶋も王もスランプはある。ばってん、こがんと数ばかりとったら、そいが実力ぞ。ちかっと勉強ばせんか！」

と、叱咤激励？ されたのです。

1、2回は頑張っただけで人並みの結果を出したのですが、先生の激励と期待に長くは応えられませんでした。勉強は長続きしませんでした。元々勉強をするということが苦手で、遊んでばかりいましたから。

部活は柔道部でした。1年の夏休みで辞めてしまいました。弱かったし、根性がないからです。高1の年末の出来事は忘れもしません。12月29日のことでした。原付のバイクを運転して交通事故を起こし自宅謹慎いわゆる停学の処分を受けたのです。両親にも先生方にも迷惑をかけてしまったことを思い出します。

その時の、担任の先生が生物の多久島先生で、家庭訪問に来てくださいました。多久島先生は厳しいことは何も言わず、我が家近くの桜の木の上にあった「かちがらす」の巣作りのことを話してくれました。かちがらすは枝を一つずつくわえて巣（家）をつくることについて教えてくれました。グッときました。普通ならここで起死回生、反省と勉学に励むと思いませんか？ しかし目覚めもなくだらだらと月日は流れ、卒

業するころの成績は300番から400番の間をうろうろしていたと記憶します。

まわりの同級生は次々と目指す大学に合格しました。

なぜ高校を卒業して警察官になったのか、簡単に言うと、どこの大学も落ちたのです。勉強をしない落ちこぼれですから当然といえば当然ですよ。家も貧乏でしたから選択肢に浪人はありませんでした。私の兄が佐賀県警の警察官で、姉の夫が神奈川県警に勤務していました。身近に警察官という職業がありました。

閉塞感というものもありました。なんとなく、佐賀を離れば違う世界を見ることができるとか、何とかなる、何かになれる、という根拠のない自信のようなものがあつたのでしょうか。

1976年（昭和51年）大学受験に失敗した私には、警察官の道しかありませんでした。佐賀県警に落ち、残された進路は「神奈川県警」への就職しかなかったのです。

木村拓哉が出た「教場」は神奈川県警を舞台にしたテレビドラマでした。キムタクのようなカッコいい教官はいませんでした。厳しい教官ばかりでした。

神奈川県警の警察学校には北海道から東北、関東、九州など全国から集まりました。自由気ままに生活していた私は、警察学校の厳しい寮生活に堪えられず、何度も荷物をまとめて帰ろうかと思いました。小城を離れ都会に出れば何とかなるという甘い考えでしたが、厳しい環境の中におかれた時、親のありがたさ、そしてこの天山を臨む故郷の良さを身をもって感じました。

親の激励と故郷を出てきた小さなプライドで1年後に何とか警察学校を卒業することができました。警察学校を卒業して、夜、神奈川大学の法学部に通いました。働きながらの夜間大学で夜6時から9時半までの授業で法律を学びました。と、言いたいところですが、当時のキャンパスは荒れていました。暴力で社会を変え革命を起こすという過激な運動が活発でした。校門にはヘルメットをかぶり、タオルでマスク、手には角材（ゲバ棒）を持つ若者が立ち並び、校内はペンキで書きなぐった「何とか粉碎、何とか殲滅」など激しい立看板が乱立し、授業はまともに開講されず、定期試験も行うことができないありさまでした。大学生

活は暗くていい思い出はありませんでした。

警察学校を卒業して、交番のおまわりさんからスタートし、いろいろな職場を経験しました。若いときは、パトカー勤務、機動隊、刑事の仕事、それから総務課やら会計課やら現場と離れた組織を管理する仕事もしました。転勤は多くて28回でした。幸い神奈川県警は自宅を構えたと転居はしなくて良く、単身赴任はなしで家族と一緒に暮らすことができました。

30代前半、警部補のころです。当時、暴力団の活動が活発で市民生活が脅かされていました。そこで、市民の生命、身体、安全な市民生活を守るために、1991年（平成3年）暴力団をターゲットに取り締まる法律ができました。いわゆる暴力団対策法です。この法を運用するための準備作業に当たりました。具体的には暴対法という法律を受けて、県の条例、公安委員会規則などの規定づくりや、実際に警察官が法を運用するためのマニュアルなどを作りました。その時、暴対法という法律を何回も読み、警察庁で研修も受けました。私が言葉を知らなすぎる、文の読解力がないこと、そして文章にすることを難しさをひしひしと感じました。

この時は、勉強しました。生まれて初めて頭が痛くなるほど、頭を使ったことを思い出します。

警察官が昇任するためには、巡査部長、警部補、警部試験と3回の昇任試験勉強をしなければなりません。私は運が良かったので何とか受かったのですが、これも、勉強が不得意な私は、大変でした。高校の時、勉強をしなかったつけがきました。基礎学力がないことを痛感したのです。高校時代にもう少し勉強に取り組んでいたらと悔やみました。もっと違った人生になったのではないかと反省しました。

30代半ば。警部のころです。阪神淡路大震災が発生しました。

1995年（平成7年）1月17日、大地震により多くの方が亡くなり（6,432人）、家々は崩れ落ち、燃え、高速道路は館のように曲がってしまい、交通網はズタズタでした。

当時は神奈川県警の小田原警察署の地域課長でした。これまでにない大災害ですから全国の機動隊が被災地に派遣されたのですが、それでも

足りず、神奈川県警の交番勤務の警察官からも「特別機動隊」が臨時に編成され兵庫県警に特別派遣されました。私は、過去に機動隊勤務の経験もあったことから、中隊長として神戸での災害対策活動に当たるため数多くの車両を連れ、東名高速道を走り、関西方面に向かったのです。

大阪万博の跡地で、兵庫県警の警察官数人が私たちを待ち受けてくれました。挨拶しようと車から降り、その時、兵庫県警の警察官に見覚えのある顔がありました。何と小城高校の柔道部で一緒の同級生、三砂隆夫君だったのです。彼は関西大学を卒業し兵庫県警の警察官になっていたのです。その時の驚きは今でも鮮明に覚えています。お互いに「オー！ キタガワヤッカ!!」「オー！ ミスナヤッカ!!」と。家族は無事だったかと尋ねたら彼は「皆大丈夫だ。」と答えましたが、発災間もないときで被災地に不安な家族を残し、家を離れて現場で活動しなければならない彼の心中を思うと、応援派遣で行く私と大きな立場の違いに、警察官であるとはいえ、自分だったら、どうだろうかところが痛みました。

彼は2週間ほど私たちの部隊と同行し、勤務地の神戸から宿舎の大阪警察学校までつきっきりでお世話をしてくれました。小城高校の同級生と大災害の現場での出会い。そこで彼にお世話になったこと。不思議な縁を感じました。

40代後半のころ。検視官として数多くの人の死に立ち会いました。内野聖陽が主演した『臨場』というテレビドラマを知っていますか？

死体を観察する仕事の「検視官」をモデルにしたものです。みんなが遺体に向かって合掌していますがこのドラマが放映される2年ほど前に、私はフジテレビの密着取材を受けました。検視官として活動したその時の状況が「ニュースジャパン」で放映されたビデオがありますから、観てください。

ニュースキャスターの滝川クリステルさん、きれいでしたね。2回ほどお話しする機会がありました。クリステルさんは小泉進次郎氏の妻となってしまう。その頃私の補助をしていた人は、当時警部補で現在は警視になって検視官として活躍しています。

検視官は、いわゆる変死体、分か

りやすく言うと医師が死亡診断書を書かない死体です。警察では、死体をよく見て、刺されたり、切られたり、殴られた傷はないか、亡くなった人はだれか、その人の生活環境も丁寧に捜査して事件性がないか確認します。不審点があり、他殺等事件性がある場合は法医学者による解剖などによって死因を明らかにして、犯罪死ではないかを見極めるのです。みんなも死体を見たい人はいませんよね。私は死体を見ることが大嫌いで、死体を扱う仕事など耐えられないという、当たり前で普通のおじさんでした。しかし、当時、上司から検視官を経験することを勧められました。一度は何とか断ることができましたが、二度目は断ることができず警視3年目48歳のとき検視官という仕事に就きました。法医学を学ぶために2カ月半ほど都内の調布市にある警察大学の法医研究科というところで寮生活をして勉強しました。病気やケガなどを治す医療ではなく、死に至る原因を究明する医学でした。東京大学、慶応大学など法医学の権威である医師から、「人の死とは」から始まり、体の仕組み、死に至る要因、東京監察医務院や大学での解剖実習など、犯罪死を見逃さないための学びでした。多くは犯罪に関係のない死体ですが、ごく一部に犯罪にかかわる死があります。恨みやお金を奪うための殺人事件の被害者、自殺を装い事故と見せかけるものもありました。

皆さん、神奈川県警が1年間にどれくらい死体を取り扱うと思いますか。

私が検視官当時、神奈川県警が1年間で扱う変死体（異状死体）の数は約12,000体でした。昨年は14,000体が増えていました。月1,000体、1日30体強。検視官は2年間の任期で24,000体となります。このすべての死を書類での報告も含めて確認しました。自分の目で直接確認したもの、事件性の疑いのある死体も相当数あり、200~300体は実際に死体を視て、触れて検視をしました。

多くの人の死に立ち会いました。殺害された人、自ら命を絶つ人、事故で亡くなる人、孤独死。人はいつか死にます。どういう形で亡くなるか。それは天のみぞ知るのでしょう。人は生まれ、運命であるといえ必ず死を迎えます。人生いろいろなことがあります。幸せなことばかりでは

なく、辛いこと、落ち込むこともあるでしょう。だが、生きていれば必ずチャンスが来る。死んだらおしまいだ。前を向き、生ある限りは健康で少しでも有意義な人生を送りたいと思いました。

50代のころです。検視官を経て6年後、神奈川県警の捜査一課長となり数多く発生した凶悪事件に立ち向かいました。テレビでも「警視庁捜査一課長」とか「神奈川県警捜査一課長」とか、テレビではカッコいいですが、捜査一課長は結構大変なんです。休みはないんですね。いつ事件発生の電話があるかも分かりません。たまに自宅で体を休める待機はあったのですが24時間スタンバイの状態でした。

当時、重大な事件、社会的反響の大きな事件の捜査に当たりました。いくつかその事件を紹介します。

○川崎市内では、19歳の息子が43歳の母親を殺害しバラバラにして捨てた事件

息子を大切にしていた母親がその息子に殺害され、バラバラにされ、ゴミ捨て場に捨てられました。悲しい事件でした。

○秦野市内では、小学1年生の女の子に対する児童虐待殺人事件

その子の名前はAちゃん。Aちゃんは小学校に一度も通うことなく、母と交際相手の男と二人に暴力を受けて殺害され、横浜の山林に捨てられました。かわいそうで今でも思い出します。

○伊勢原市内では、元夫が元妻をナイフで切り付け瀕死の重傷を与えたDV殺人未遂事件

元妻は元夫の暴力に耐えきれず離婚し、身を隠したものの執拗に追いかかれ、居場所を突き止められて早朝アパートを出たとたん元夫にナイフで刺され、切りつけられ、一命をとりとめましたが瀕死の重傷を負いました。

等々。ほかにも数々の凶悪な事件捜査に当たりました。それぞれの事件は被疑者を逮捕し、事件は解決したというものの、被害者の命は還ってきません。亡くなった被害者の方に思いを致すと、なぜ、このような被害に遭わなければならなかったのかと無念で、今でも悔やまれます。

警察は、このような事件を未然に防ぐために、ストーカー、配偶者暴力、男女間トラブル、児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待に関して、その兆

しがある段階から対処して被害防止を第一に当たっています。しかし、今でも人の命を奪ったり、身体を傷つけたり痛ましい事件は無くありません。

恨み、憎しみなど一時的に爆発する感情を抑えて、落ち着き、考え、理性をもって行動することが人として大事なことだと思います。痛ましい事件がなくなることを願っています。

さて、神奈川大学の紹介です。あまりなじみがないでしょう。知っている人は？

国立ではなく私立です。箱根駅伝で連続優勝したこともあります。横浜市内にキャンパスが2つあります。神奈川区に本校の横浜キャンパスがあり、みなとみらい地区に2年前に新しく建設された「みなとみらいキャンパス」があり、結構人気があります。文系も理系もある総合大学で学生数は1万8千人弱。中堅の大学で、間もなく創立100年を迎えます。学生の約半数は神奈川県出身者で、関東近郊の学生が主です。

わが小城高校卒の在學生はいませんが、1999年から6人の在籍がありました。この神奈川大学の教壇に5年前から立っています。大学を卒業して40数年。警察官であった私がなぜ、大学の教員になったか、その経緯を説明します。

現在は少子化になり、学生数は減ってきました。私たちの小城高校時代は1学年400人、今は半数の200人になっていますよね。しかし、昔に比べて私立大学がずいぶん増え、女子の進学率も増加しました。2022年度の全国の大学進学率は過去最高の56.6%、短大・専門学校を含むと83.8%が進学しています。一方、私立大学の半数近くが定員割れの状態となっています。このような中で、生き残りをかけた大学改革が始まっています。神奈川大学も学生や保護者のニーズに応えようと、独自の教育、進路指導に力を入れて差別化を図っています。

神奈川大の法学部には法律学科と自治行政学科があります。学生は地元出身が過半数で、県庁、市役所、警察官、消防官等の公務員志望者が多いので、将来のこと、就職を考えたカリキュラムを作っています。大学としてはその一つとして「警察の知識、警察官の職」について学びの場をつくらうとしました。そこで元

警察官である実務家教員が必要となったのです。

私は5年前、小田原、箱根を管轄する小田原警察署長で定年退職を迎え、神奈川大学に招かれました。現在は2年生、3年生、4年生を対象とした授業を年間5コマ担当しています。

昨年度から、主に警察官を志望する学生に向けた「警察官実務特修」という科目も設けられました。

大学の教員となって学生に対して思うことが二つあります。

一つは、「学ぶという向学心の差」についてです。まじめに取り組んでいる学生が大半ですが、

- ・アルバイトが優先で、授業はその次という学生がいる。

- ・楽に単位が取れる科目を選ぶ、試験がない、レポート提出が少ないことで授業を選ぶ学生がいる。

- ・授業で行うことを分かりやすく説明した教材(オンラインテキスト)を読んでこない者がいる。

- ・提出を求めたレポートを催促しても提出しない者がいる。

二つは、「基礎学力の差」についてです。

1年を前期後期に分け各14回の講義です。講義時間は100分授業です。講義のいくつかで、手書きのリアクションペーパーを書いてもらうことがあります。内容は、講義の内容、講義を受けての感想、質問その他についてです。A4で1枚(600~700字程度)を20分間で。講義内容を理解し、良く整理され、しっかり書く人がほとんどですが、語彙が少ない、まとまっていない、感想文で終わる。半分くらいしか字が埋まらない。ほか時間内で書けなくて次回提出する人もいます。

そこで、皆さんにお願いしたいことが三つあります

- 1 今やらなければならない「学ぶ力をつける」こと

今、自分がやるべきことは何か。皆さんはまず、「学ぶ力」を身に付けることですね。

- 2 目標を掲げ意欲を失わないこと

目標、目的をしっかりとつ。前を見て意欲を失わない。大学に行くことが目標ではないはず。あくまでも大学は自分のやりたいことを実現するための手段であると思います。大学で何を学ぶか。やりたい仕事に就ける、やりたいことができる準備なのです。大学は、ワクワクす

ること、ドキドキする目標を見つける場でもあります。多様な生き方を選べる時代です。自分の好きなこと、自分に合ったことに努力して、人生を豊かに歩んでください。

- 3 投げださないこと、諦めないこと

人生思うようにいかないこと、努力しても頑張ってもうまくいかないことがあります。「自分だけなんて運が悪いんだ」「神様なんかいない」と思うことがあります。調子が悪いとき、人に認められない、結果が出ないとき、何をやっても裏目に出るとき、絶対にひねくれないで、投げ出さない、最後まで諦めないこと。人生いつかきつといいときが来ます。

皆さん、一人一人が輝いてください。それぞれの持ち味、得意な分野を生かすこと、やりたいこと、やりたい仕事を見つけてください。その時に自分が得ることだけの「利己主義」ではなく、人に喜んでもらう、社会に役立つことを考えて行動するという「利他の精神」を忘れないでください。

思うような成績が取れないこと。失敗ばかりして落ち込むこと。何をやってもうまくいかないこともあります。でも、どこにいても、投げ出さず、生きていれば「いつか、どこか」にチャンスがあります。「人生至るところに青山あり」。オンラインワンを目指すためにナンバーワンの努力をしてください。輝く君たちに乾杯です！

結びに、皆さんの後ろのほうを見てください。50年前に縁があり小城高校に集った仲間たちです。この小城高校の仲間がいて、これまでつながっていたからこそ、今、私が存在し、この場に立たせてもらっています。ありがたいことだと深く感謝し、お礼を申し上げたいと思います。

黄城会副会長の井手美保子さん、評議員の秋野和之さん、堤尚子さん、そしてお集まりいただいた大勢の同級生の皆様ありがとうございました。

皆さま、ご清聴ありがとうございました。

(2023.5.2 母校小城高校にて)



就任のごあいさつ

黄城会会長
古賀 正人

風薫る季節となり、母校の大樟も新緑に映え、目が洗われるようです。会員の皆様には益々御活躍の事とお喜び申し上げます。

私この度会長に就任いたしました高校24回の古賀正人（バスケットボール部OB）と申します。

前会長の下、副会長を務めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染の拡大により同窓会活動も制約を受け、計画していた行事も中止を余儀なくされ、副会長の職責も十分に果たす事ができないなか、会長とい

う身に余る大役を仰せつかり責任の重さを痛感しております。

微力ではございますが、黄城会並びに小城高等学校の発展の為、精一杯努めてまいる所存です。

さて本会は会員の皆様の会費と寄付金により運営されており、会員相互の親睦、小城高等学校への支援を柱として活動しております。会員数の減少、会費納入率の低下は会を運営継続していくためにも大きな問題となっております。

会員の皆様の更なる御支援、御協力をお願いします。

結びになりますが、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念致しまして、就任の挨拶といたします。



母校だより

校長
牛島 徹

校長の牛島徹と申します。昨年引き続きどうぞよろしくお願い致します。

黄城会の皆様には、日ごろから、学校の教育環境、並びに生徒の学習環境の充実に多大なるご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。5月3日の黄城会総会は、4年ぶりに通常の形に戻り、多くの同窓生のご参加の下、盛大に開催されました。心からお祝い申し上げます。そして当番幹事の皆様方におかれましては、この日の準備に大変なご苦労があったかと拝察いたします。改めて感謝と敬意を表します。

さて、令和2年の初頭から始まった新型コロナウイルス感染症による混乱も収まりつつあり、学校の諸活動も以前の状態へと戻ってきました。ここ数年の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は学校に

とっても大きなものがありました。しかし、生徒たちは、自分たちの置かれた状況を認識し、自分たちの今できることに精一杯取り組んできました。学業や部活動に真摯に取り組み、様々なボランティア活動にも積極的に参加してくれました。困難な状況の中で、生徒たちの明るく前向きに物事に取り組む姿に、むしろ私たち教員の方が深い感銘を受けるとともに多くの勇気ももらいました。

ところで、昨年は「進化！小城高校2022始動」をスローガンに掲げ、学校改革に取り組みました。生徒と職員、保護者が一つになり、様々な取り組みを実施し、文字通り進化を実感できる一年でした。校内では明るい挨拶が飛び交うなど、学校の雰囲気一段と良くなり、そうした良い環境が、多方面で好循環の流れを生み出しているように感じています。中でも3月に卒業した生徒たちは、よく努力し、令和になって最高の国公立進学者数を出してくれました。また、嬉しいことに今年の高校

入試においては、多くの中学生が本校を目指してくれ、県内高校の中でもトップクラスの高い倍率となりました。こうした昨年の好循環の流れを止めることなく、令和5年度は、「大進化！小城高校2023躍動」を掲げ、さらなる学校活性化につながる取り組みを進めて小城高校の魅力を高めていきたいと考えています。具体的には、小城市と連携協定を結び、キャリア教育や課題解決学習に取り組みます。また、共生社会を担う人材の育成をテーマに九州大学と連携協定を結び相互交流等を実施予定です。

これからも県教委が推進している「唯一無二の誇り高き学校づくり」と呼応しながら、小城高校の良さ、魅力を県内外に発信し、生徒や卒業生が誇りに思う学校づくりを目指していきたいと考えています。

最後になりますが、同窓会の皆様方には今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。



関東支部

前日遅くまで参加人数確認、名札と座席表作り、会議資料や会報印刷で於保はじめ役員諸氏は奮闘して、明日は天に任せ当日欠席の無い事を祈った。

朝から雨天となる。出足が鈍るなど心配しながら会場にむかう。役員は10時集合。皆揃い会議資料の一人ずつの仕分け・会計受け取りの準備・名札・席次案内の段取り・プロジェクター・音量テスト等打ち合わせをして、受付担当も10時半には揃った。会場に散歩会の快晴の写真等張り出した。バックミュージックに小城高校の校歌を流し続けた。11時を回りチラホラと会員の姿が見られ、受付嬢達も戦闘モードに。矢張り雨の為か出足が鈍い。来賓が早く来場される。まだ残り50人。ラスト30分から俄然受付が混雑して不安も消えた。

12:00開会、川副事務局長高校32回の司会。本村支部長挨拶・村上散歩担当事業報告・光石幹事長の会計報告・林監査の承認を経て、3年振りの開催で役員交代となり本村さんから村上が支部長を引き継ぎ新役員の紹介で総会は終了した。

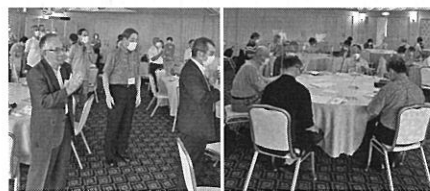
来賓挨拶は田代小城高校教頭、高校の現状説明等マスク姿で、皆真剣に聞いていた。中京支部梅谷副支部長が続いて挨拶、人数が増えず高齢化が進む中京支部の今を説明されて一部が時間通り12:45に終えた。

会食となり司会は高校39回歌手の江頭常任幹事。高校12回が今回参加最高齢となり81歳4人を代表して中原光明さんが乾杯の音頭。「僕たちが最高齢とは思わなかった。名簿で我々の上は真っ白だった」とユーモアの言葉の後で音頭を執られ会食開始。黙食、仕切り版が邪魔だけで、ビール1本で豪華幕の内弁当が美味しかった。後からの評判も良かったと幹事安心した。来年の母校総会の準備会高校50回卒業副島委員長・手塚副事務局長の挨拶、関東の嶺川さんの3人で来年の総会チケットの販売開始、3,000円40枚持参が30枚裁けた模様だ。

歌手の司会で唄が無いのはと、村上と二人で「無法松の一生」「度胸千両」を音量豊かに会場に響いた。そして終盤「小城高校校歌」の合唱を聞いてマスク越しに口パクで歌った。井手副会長が来年の総会では180名の参加で開催したいと元気な声で締めて2時間のスピード総会を終えた。

3名の当日キャンセルが出て79名の参

加、80名の予約を1名割り込んだ。3年振りの再会もコロナの閉塞感からの開放の為か、マスクの上の目が皆輝いていた。青春の力量はどんな薬より効く。受付会計を引き受けた於保は食事も取らず頑張ってくれた。受付の5人の動きも良かった。名札は貼り付けの為回収の手間も省けた。卒業同期でのバラつきがあるので対策の必要ありだ。ゼロを無くし日頃からの交流がポイント。同期会の開催を促して会に直結させたい。後は名簿情報の収集と若手の活性化の為にIT担当の真子の活躍と川崎・橋本・森のトリオでの動員力に大いに期待する。来月の幹事会で反省の上に改善したい。秋の散歩会も50名を越す黄城人の行列を夢見て解散した。高校19回急逝した山崎君を偲ぶ会を厳かに献杯をして長い一日が幕となりました。(関東支部長 高校19回 村上 徹)



中京支部

黄城会中京支部活動に日頃より多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和4年度はコロナ禍が続く中において、会員の皆様に中京支部としての活動を「どのように伝えるか」を考える一年となりました。活動が縮小せざるを得ない中で、支部の維持を継続させることをテーマに役員一同様々なことを話し合いました。

そのような中、支部総会を何とか開催したいという強い思いで計画を立ててはいましたが開催予定時期までに終息の傾向が見当たらず、ギリギリの判断でやむなく一般会員様はお呼びすることは諦め、感染対策を厳しく行いながら、有志のみでの少人数ではありますが支部総会を令和4年9月17日に名古屋駅近くのお

店で開催を致しました。その際にはお越し頂きました中京佐賀県人会の荒木会長と、会員さんが縮小する一方、それに加えてコロナ禍の中どのように切り盛りするのかなど切迫した課題などについて意見交換をさせて頂き、中京佐賀県人会と黄城会中京支部のさらなる連携をお約束頂くなど非常に有意義な時間となりました。ご参加頂きました方はお忙しい中、またコロナ禍の中、ご参加頂き誠にありがとうございました。

本年度こそは支部総会も通常開催を目指しており、またそれに向けて粛々と準備を重ねております。機会がおりの方はぜひご参加くださいませ。

私共役員も当初はリモート会議のアプリ操作もままならなかったものの、今では2ヶ月に一度の定例会議を出来るようにもなり、支部役員会も定例で行っております。

中京支部は皆様の多大なるご協力・ご支援なくては存続出来ません。今後も宜しくお願い申し上げます。

(中京支部事務局長

高校40回 堤 淳)



関西支部

令和4年度はコロナ感染症対策が徹底され、今年こそ総会が開催できると期待が膨らみました。7月3日の役員幹事会で、予定通り9月18日開催で準備を進めることを確認。会場の道頓堀ホテルとの交渉もあり、最終判断を8月末としました。7月15日に広報(総会案内、会計報告、会費納入状況)を発送。会費納入者には岡本副支部長制作の「関西歳時記」BDを同封しました。

大勢の方から出席の連絡を頂きましたが、7月下旬から感染者数が増加に転じたため、会員の健康を第一に考え、8月27日総会中止を決断しました。28日に出席予定者へ連絡し、本部HPへの掲載を依頼しました。(中止によるキャンセル料はありません)

令和5年度は関西支部設立70周年です。支部総会を9月17日道頓堀ホテルで開催します。黄城の伝統を感じつつ、旧交を

温める場にしましょう。

(関西支部事務局長

高校20回 内田 敏博)



関門・北九州支部

2022年度 関門北九州支部総会 (中止) 報告

支部総会は本年度もコロナ禍により、会員のご健康・ご体調にご配慮致しまして、先輩方にご相談の上、誠に残念ですが断腸の思いで中止とさせて頂きました。この場をお借りしまして、改めて、黄城会会員、学校関係者皆様方のご健康を心より祈念致しまして、ご報告とさせていただきます。

(関門・北九州支部 支部長兼事務局長

高校29回 山口 孝美)

福岡支部

令和5年度の福岡支部は、秋の総会・同窓会の会合を3年連続となりましたが、中止致しました。新型コロナ禍の動静が不透明な中、高校49回卒会員による実行委員会結成もなく、不本意ながら昨夏、役員会から幹事会の皆さんへ、開催中止をお知らせ致しました。

福岡支部では、それまで小城本部にならい継承されて来た、当番回期実行委員会による総会・同窓会の開催、運営活動が、コロナ禍を境に事実上途絶えており、今後の復活、継続が危ぶまれています。

このような中、役員会では、会議を重ね、更に高校48回、49回卒有志をまじえた意見交換会議を経て、感染症禍等の急変事態発生がない限り、令和5年度秋の総会・同窓会を開催する事に決定致しました。当番回期(高校50回卒)会員の実行委員会結成を待ちつつ、先行して役員会が開催に向けた準備作業に着手する事とし、3月、手探りの状態ながら既に始動しております。

末筆ながら、黄城会の弥栄と会員諸兄弟のご健勝を祈念しつつ、以上ご報告と致します。

(福岡支部幹事長 高校26回 古賀 省吾)

長崎支部

12年間の活動休止期間を経て、2015年度は12月に、それ以降は1月下旬に合計5回支部総会を長崎県の中央に位置する諫早市で実施しました。そのうち出席者数は最多は35名、最少は25名でした。出

席の最古参の方は新制2回卒の2名の方でした。

新型コロナ禍のため2020年度から3年間支部総会の開催は中止し、長崎県内在住の黄城会会員にその開催中止の連絡もせず、また総会行事以外の活動も全く実施せずに来たので、次年度の開催に果たしてどれだけの皆さんが出席してくださるか心配しています。

そこでこの4月中に、過去の出席者やその他の方々に寄稿(内容は高校時代や社会人時代の思い出、過去の支部総会の感想、その他自由なテーマなど何でも良いという)をお願いする文書を発送して、9月中にはちょっとした文集を発行して皆さんに発送し、次年度の総会に備えようと思っています。

(長崎支部事務局長

高校10回 大石 太)

佐賀支部

令和4年度の佐賀支部の活動は、今年度こそは支部総会の開催を願ったのですが、残念ながら叶いませんでした。コロナ感染は、若年層を含め全世代に拡がり、役員会では開催時期を翌年2月にずらしても出来ないかを期待したのですが、慎重な意見が多くを占め中止が望ましいとの結論となりました。

ただし、次年度は、どんな形でも実施するとの決意でのごぞとしました。次回開催では、小城高校同窓会が、どうして「黄城会」と名付けられたのかの話を世話役の森氏より聞けるのを楽しみにしています。それまで準備をしっかりしたいと思っております。

(佐賀支部事務局長

高校22回 徳久 英二)

唐津支部

これまでの唐津支部総会では、活動の報告、学校や生徒の近況、新旧本部総会実行委員会からの挨拶、懇親会では、参加者全員の自己紹介、余興、終わりには恒例の校歌斉唱を行っております。

一方、支部総会参加、支部会費負担が減っているところです。黄城会総会や支部総会への参加、または年会費の負担を多くの会員のご協力が伝統ある組織の継続にもなります。どうぞ総会にかかわった関係者、会報を読み込まれた皆様、多くのご友人に呼びかけを含め継続的な参加をよろしく願いいたします。

さて、唐津支部においては、令和2年度から支部総会及び懇親会開催を中止しておりますが、本年度の黄城会総会を参考に令和6年2月に唐津市内にて、令和5年度黄城会唐津支部総会及び懇親会を支部会員はじめ、本部、学校、関係者へ

のご案内ができるよう支部役員一丸となって考えているところです。多くの皆様の参加を心よりお待ちしております。

(唐津支部事務局長

高校43回 濱村 宜弘)

多久支部

日頃より、黄城会多久支部の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度、多久支部においては、例年開催しています黄城会多久支部総会を、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、残念ではありますが、昨年同様に中止と判断しました。

会員の皆様にはご理解の程、よろしくお祈りいたします。

さて、年が変わり、マスク着用などの制限が緩和される見通しとなって、新型コロナウイルス感染症の影響が、若干ではありますが薄れつつあることから、今回の支部総会が、問題なく開催できるものと期待し、また、多くの会員の皆様にお会いできることを願っています。

最後になりますが、黄城会の更なる繁栄と、会員の皆様のご健勝を心より祈念しまして、黄城会多久支部からの報告とします。

(多久支部事務局長

高校46回 川渕 理)

県庁支部

県庁では、令和4年度は新型コロナ感染症対策と原油価格・物価高騰対策に全力で取り組みました。コロナの第7波、第8波により残念ながら支部総会を開催することはできませんでした。本年5月8日からコロナの感染症法上の取扱いは季節性インフルエンザなどと同じになりました。今年度は平常に戻り、会員の親睦を深めたいと考えています。

さて、来年10月には「SAGA2024(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会)」を佐賀県で開催します。昭和51年の若楠国体以来、48年ぶりの本県開催となるSAGA2024は、「体育」から「スポーツ」に変わる最初の大会です。エンターテインメント性あふれる演出やナイトゲームの開催など新たな取組にチャレンジし、全ての人にスポーツのチカラを届ける「新しい大会」の実現を目指して、準備を進めています。

黄城会の皆様には、様々な場面でお世話になると思います。よろしく願いいたします。

(県庁支部支部長 高校35回 伊東 厚)

25回生 卒業50周年を迎えて



高校25回
平安寺 徹

まずは今回黄城会総会に当たって、黄城会事務局長として、総会開催の準備をされた50回卒業生の皆様、会場設営のお手伝いをされた在校生の皆様、会員券販売に尽力された評議員の皆様、各支部の皆様厚く御礼申し上げます。

さて卒業して50年、長らく東京在住のため、何回かの帰省はあったものの、黄城会とは関わりが薄い状況でした。ところが一昨年両親との生活のため、単身小城に戻ったところ、昨年黄城会の事務局長の話があり、之までの不義理もありお役に立つのであればと思い、承る次第となりました。

ところが事務局に出向いた折、皆様から25回生の集まりが悪い、総会にも

毎年2～3人ぐらいしか出席していない。来年の50周年の総会は大丈夫かとよく言われました。

私自身25年前の総会実行委員にも参加せず、何のお手伝いもできなかったことがよみがえり、何とか声をかけて出席者を募ろうと動き出したところ、同窓会も同時に開催したいとの希望が多く、卒業50周年記念同窓会を開催いたしました。

5月3日総会当日、集まった顔ぶれは半分近くほぼ50年ぶりという状況でした。みんなの声が「久しぶり、懐かしあ」ばかりでした。何年ぶりかの唐津線、小城駅から徒歩での小城公園経由みんな楽しそうに話していました。

母校の体育館で4年ぶりの開催、在校生のプラスバンド等アトラクションもコロナ禍前の状況に近づけた開催と

なり、感激いたしました。

体育館の壇上に上がり皆様からのお祝いを受け、50年経ったのだなど改めて感じ入った次第です。

同窓会会場でも盛り上がり誰もが高校生に逆戻りしたかのように、楽しそうに話していました。2時間では話足らず、半数近くがそのまま2次会に流れ込んでいきました。小城高校で過ごした3年間、たった3年間ではあるがいつまでも思い出に残る大切な3年間であったと改めて感じ入った次第です。

私自身、今後もしばらくは黄城会に関わっていくので、来年以降も総会開催のお手伝いを続けていきます。

卒業50周年を祝って頂き本当にありがとうございました。



黄城会総会を終えて

2023年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 副島 剛 (高校50回)



2023年度黄城会総会を無事に終え、実行委員及び開催にあたり協力してくれた高校50期一同安堵しております。この総会はコロナ禍から徐々に制限が解除されている中での開催ということで、どこまで従来の形に戻すのかの判断が大変難しかっただけに、滞りなく会を終えられただけで十分満足しているというのが正直な思いです。これもひとえに、私たち実行委員を温かく支えてくださった先輩のおかげだと感謝しております。0の期会の牟田口理事と大石評議員をはじめとする10回生の皆さまには、かつての総会資料や映像資料をもとに多くのアドバイスを賜り、新年会

にもお招き頂いて皆さまから温かい激励と寄付金のご支援を頂きました。また、関東支部総会におきましては、本村前支部長の計らいで大々的にチケットの販売をさせていただき、活動序盤の資金繰りの大きな助けとなりました。さらに開催1週間前から当日にかけて延べ200名の在校生の方に準備のご協力をいただき、本当に大きな力になりました。今年で黄城会総会は50回目の開催となったわけですが、過去50回がこのように多くの卒業生と在校生によって支え続けられてきたことに、この会の価値を実感することとなりました。そして、この多くの支えを形にしてくれたの

は50回生実行委員のメンバーです。発足から1年2か月の間、仕事や家庭がある中、自分の時間を費やして各自の役目を果たしてくれました。時に心無い会員に不愉快な思いをさせられることもあった中、それでも投げ出さず尽力してくれた責任感には、感謝と尊敬の念に堪えません。本当にありがとうございました。それだけ頑張ったご褒美が、総会で再び拝聴することができた恩師森宏二郎先生の訓話だったのではないかと思います。最後に51回生のみなさん、我々でできるサポートは最大限いたしますので、来年度の総会にむけて頑張ってください。

来年度の黄城会総会に向けて

2024年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 木下 直登 (高校51回)



2024年度黄城会総会実行委員長を務めます木下直登と申します。

先日2023年度の総会に参加して、久しぶりに同級生や先輩、また恩師とも再会する事ができ、個人的にも有意義な会になりました。前回まではコロナ禍の影響を受け規模を縮小しての開催だったという事でしたが、今年は久々に小城高校体育館で行われ、会場内は大変賑わっていました。

ここ数年ウイルス感染症対策により世界中が未曾有の経験を強いられることになり、誰もが大変な時期を過ごす事になりました。私自身もフリーカメラマンをしていますが、緊急事態宣言直後は撮影のスケジュールもほぼ全てがキャンセルになり、なす術もなくなつたが呆然としてしまう

しか無かったという記憶があります。

しかし、ちょうどこの文章を書かせて頂いている5月からコロナも第五類に引き下げられ、まだまだ油断は出来ないものの、ひと段落がつけられようとしているところかと思えます。

人類史上に残る出来事に今を生きる私たちは大変な衝撃を受けましたが、どんな時、どんな事があっても立ち上がってきた歴史もまた間違いなくあります。

著名な哲学者であるニーチェも人生も通して、どんな事が起きようと、前向きに捉え肯定する事の大切さを唱え続けました。

それを思いますと今まさにその思想を生かし、これを新しい時代への

良い転換機として受け止め、進んでいく力を出していく時なのではないでしょうか。

私たちはこの黄城会を通して、人と繋がり、地域と繋がり各々が役割を果たしていく。その中で新しい時代を作り、そして紡いで伝えていく。そんな場所、会が行えるように出来ればと思います。

これからの一年間を通して仲間達と協力し合いながら、来年度の黄城会総会が成功し皆様にとっての、来て良かった、また来たいという気持ちになって頂ける場所になるようにしっかり準備して進めて参りたいと思います。

来年の総会も是非ご期待下さい。

たくさんの方々に支えられた3年間

副島 七海(熊本大学文学部コミュニケーション情報学科)

私が小城高校で過ごした3年間で振り返って最初に頭に思い浮かぶのは周りの方々への感謝の言葉です。私が小城高校に入学した理由は、小学生のころから続けてきたバドミントンを頑張りながら、勉強にも力を入れたいと思ったからです。小城高校への入学が決まった時は、部活動や学校生活に対する期待で胸がいっぱいでした。

しかし中学校を卒業するころに新型コロナウイルスが流行りだし、私たちの高校生活はマスクをつけた状態で始まりました。新入生の宿泊研修も行えず、学校が休校になり友達の顔もちゃんと見ることができず、先生との関わりも少なかったため、

これからの学校生活に不安を抱いたこともありましたが、それでも周りの方々のおかげで楽しい高校生活を送ることができました。

私の高校生活の中で一番多くの時間を一緒に過ごしたバドミントン部のみんな、目標に向かって一緒に頑張ってくれた近藤先生、コーチにはほんとうに感謝しています。部活動を通してたくさんの方々のことを学ぶことができました。

最後の総体が終わり、本格的に受験モードになった時、周囲の方々からくださったサポートにとっても感謝しています。進路の相談に乗ってくださった先生方、志望理由書と一緒に書いてくださった先生、周りの

人よりも早く受験をする私を支えてくれた友達、大学進学の出してくれる家族、大勢の方々に感謝の言葉を伝えたいです。

私を支えてくれた人がたくさんいることに対する幸せをひしひしと感じています。しかし、それを当たり前と思わずこれからも努力を続け、お世話になった方々へ恩返しができるように頑張っていきたいと思います。



「全ての人達に感謝を」

飯田 幸太(熊本大学理学部理学科)

私たちの高校生活3年間は、コロナ禍という激動の時代にありました。

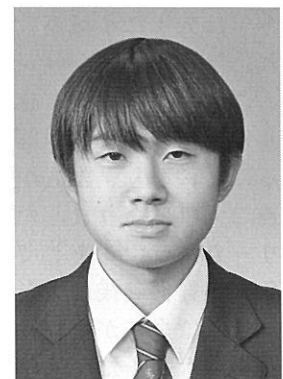
3年前の4月、期待と不安を募らせて小城高校に入学しました。授業についていけるよう勉強を頑張ろうと意気込んでいた最中、コロナの感染拡大の影響で、休校という想定外の事態が起こりました。自宅学習のため、学習環境が変わり、高校1年生の最初期という勉強面でも生活面でも大切な期間を失い、強い不安を感じていました。ですが、そんな経験のない事態の中でも手厚くサポートしてくださった先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。この出来事以外にも、小城高祭の規模縮小や

修学旅行の延期など、本当にコロナによって振り回された3年間でしたが、充実した学校生活を送れたのも、落ち着いて勉強に取り組めたのも、クラスの仲間や、先生方、支えてくれた家族がいたからでした。本当にありがとうございました。

いつも朝早くから弁当を作ってくれた母、毎週部活動を見に来てくれた父、進路指導に尽力してくださった高場先生、その他大勢の方々のおかげで今の私があります。ありがとうございます。

私は、教師になるという中学生からの夢を叶えるために、これまでの経験を活かし、多くの人達への感謝

を忘れずに、勉強を頑張ります。今ある毎日が当たり前ではないということ強く感じたと共に、この気持ちを忘れずにこれからの人生につなげていきたいと思っています。



合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】 山口大学3(1)／九州大学2／九州工業大学2／福岡教育大学2／佐賀大学25(2)／長崎大学3／熊本大学3／宮崎大学1／琉球大学(1)
【公立大学】 群馬県立女子大学(1)／都留文科大学1／県立広島大学1／叡啓大学1／山陽小野田市立山口東京理科大学1／周南公立大学1／下関市立大学3／山口県立大学1／北九州市立大学2／福岡県立大学5／長崎県立大学10／熊本県立大学1／宮崎公立大学1／名桜大学2
【私立大学】 大東文化大学1／帝京大学2／東海大学8／同志社大学3／近畿大学3／関西学院大学1／九州共立大学1／九州産業大学14(1)／九州女子大学2／久留米大学40／久留米工業大学2(1)／西南学院大学6／筑紫学園大学8／中村学園大学2／福岡大学35(1)／福岡工業大学8(1)／福岡女学院大学2／福岡国際医療福祉大学3／西九州大学40／長崎国際大学3／崇城大学7／日本文理大学1／別府大学2
【短期大学】 中村学園短期大学1／佐賀女子短大学3／九州龍谷短期大学1／中村学園短期大学1／福岡女学院短大1
【その他】 文科省外大学校6／高等看護学校23／医療系専門学校3／その他専門学校2／就職(公務員)5

部活動の成績

1.柔道

○令和4年度第60回佐賀県高校総体／女子団体 2位／女子個人 2位 大坪夕葉／女子個人 3位 神近樹愛／女子個人 3位 副島暖莉
 ○令和4年度国民体育大会九州ブロック大会柔道競技／女子団体 3位
 ○令和4年度佐賀県高等学校新人体育大会柔道競技大会／女子団体 3位／女子個人 2位 神近樹愛／女子個人 3位 副島暖莉
 ○第45回全国高等学校柔道選手権佐賀県大会／女子団体 3位



柔道部

2.剣道

○第56回佐賀県高等学校春季剣道大会／女子団体 3位／女子個人 3位

久富百寧

○令和4年度第60回佐賀県高校総体／女子個人 3位 久富百寧
 ○第44回大麻旗争奪高校剣道大会／個人 敢闘賞 中牟田愛乃
 ○令和4年度佐賀県高等学校新人剣道大会予選会／男子団体 3位／女子団体 3位
 ○第35回国土無双旗争奪剣道大会／女子団体 2位／女子個人 優秀賞 北島美咲
 ○令和4年度佐賀県高等学校新人体育大会剣道競技大会／男子団体 3位／女子団体 2位／女子個人 3位 七浦美月／女子個人 3位 北島美咲
 ○令和4年度第19回佐賀県高等学校剣道大会兼第32回全国高等学校剣道選抜大会県予選会／男子団体 3位／女子団体 3位
 ○第30回大野旗争奪剣道大会／男子個人 優秀選手賞 上原郁哉



剣道部

3.弓道

○令和4年度佐賀県高等学校弓道春季大会(高取杯)／女子団体 3位／男子団体 2位／男子個人 2位 干場隆生
 ○令和4年度佐賀県高等学校総合体育大会弓道競技／男子団体 3位／男子個人 6位 干場隆生

4.バドミントン

○令和4年度第61回佐賀県高校総体／女子団体 3位
 ○令和4年度佐賀県高校バドミントン競技新人大会／女子団体 3位

5.バレーボール

○令和4年度第60回佐賀県高校総体(バレーボール競技)／男子 3位
 ○佐賀県高校新人バレーボール競技大会／男子 3位

6.ソフトテニス

○第75回全九州高等学校ソフトテニス競技大会出場／女子個人 秀島凜／女子個人 児玉有希
 ○インターハイ出場／女子個人 秀島凜／女子個人 児玉有希

7.陸上

○令和4年度佐賀県高等学校総合体育大会陸上競技／男子個人 3位 木村達哉

【文化部】

1.書道

○第46回書協展／特選 樋渡彩乃／奨励賞 溝口滉歩・石井香帆
 ○令和4年度第74回佐賀県高等学校席書大会／奨励賞 樋渡彩乃・溝口滉歩・石井香帆
 ○梧竹・蒼海顕彰第30回佐賀県書道展／優秀賞 樋渡彩乃・石井香帆
 ○第51回全国高校書道展／特選 樋渡彩乃
 ○第45回ふれあい書道展／筆都大賞 溝口滉歩・石井香帆／特選 樋渡彩乃・山崎夏帆・古川遙菜・浅井春華・渡邊香耶乃
 ○第21回全国書道展／奨励賞 石井香帆・浅井春華／優秀賞 樋渡彩乃・山崎夏帆・古川遙菜・嶺川真羽



書道部

2.美術

○第75回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選 有浦弥玖・坂本千佳／奨励賞 岡本慈生・秋山紅亜・中村柚羽・田中心春
 ○第34回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展／絵画の部 準特選 荒木遙月・片淵瑛心・坂本千佳／デザインの部 準特選 田中心春／佳作 小路美佑
 ○第61回佐賀県高等学校デッサンコンクール／石膏の部 準特選 有浦弥玖／奨励賞 荒木遙月／静物の部 特選 田中心春

3.放送

○第69回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会／奨励賞 山口華愛
 ○第46回佐賀県高等学校放送コンテスト／奨励賞 古賀義騎

4.吹奏楽・合唱

○第63回佐賀県吹奏楽大会／団体 Aパート 銀賞
 ○第48回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト／木管三重奏 金賞
 ○第46回全国高等学校総合文化祭東京大会吹奏楽部門出場(佐賀県高等学校合同吹奏楽団として)
 ○第46回全国高等学校総合文化祭東京大会合唱部門出場(佐賀県高等学校合同合唱団として)
 ○第34回佐賀県高等学校総合文化祭連合音楽会ソロアンサンブル合唱部門／フルート三重奏 奨励賞／クラリネット四重奏 奨励賞／金管六重奏 奨励賞／打楽器二重奏 奨励賞

令和4年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っておりますが、建築後35年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、(267口) 2,372,837円のご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金につきましては、お願いした趣旨の通りに有効に活用させていただきます。

ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(高女20)	秀島寛美	森隆泰	糸山喜昭	川崎(土井)幸江	南里信幸	光岡(池田)知子
林田(真子)恵美子	山口勝利	大木(牛島)昭子	七田義孝	匿名希望 2人	川久保(中島)寿恵美	(高校32)
(高校3)	井手愛子	倉永寿子	陣内由晴	(高校20)	佐々木(三島)忍	大坪敏郎
[故]渡島宏	大野(於保)富子	萩尾(大木)和子	武富哲	荒原敏雄	柴田(塚原)春美	西川(古賀)順子
(高校4)	金子(日出島)京子	(高校12)	永尾薫	江口幹郎	永測(原)幸子	(高校36)
江里口勲	公文(田代)益子	井手良祐	藤川博康	岡田修三	(高校24)	水野(木下)紅美
古賀渡	古賀(岸川)京子	鬼塚重則	真島照男	川原田徳治	齋藤倫人	(高校37)
小川(島田)勇紀子	佐々木(徳永)祐里子	田中将之	久保(荒木)富子	木崎善行	坂井敬彌	清水(尾形)紀子
濱田(野中)琉美子	吉村(大山)米子	林義人	田中(音成)和子	岸川宗一郎	早田昌弘	高橋(春岡)亮子
(高校5)	渡邊(中島)由美子	林三郎	野口(福地)稔子	北島和道	藤本富男	服部(大久保)純子
江里口雅正	(高校9)	麻田(池上)満代	宮原(吉富)史枝	楠田貞博	森永茂	(高校38)
川副富男	金丸盛登	音成(江原)満寿美	(高校16)	永測和正	永野間(塩見)京子	野田益弘
杉原敬人	中村(石田)幸子	小島(堤)昭子	梅崎茂弘	南里一夫	(高校25)	松尾信博
立石博	匿名希望 1人	永山(北島)矢枝子	岡田史一	深川寛	高田和馬	(高校39)
堤(三好)澤子	(高校10)	平野(村口)多喜子	高木靖哉	藤川秀行	三根英樹	東島純一
成田(山下)博子	大石太	松隈(横尾)雅子	田中瑞穂	外尾美好	川村(松永)久美子	(高校40)
(高校6)	岡本壽夫	(高校13)	古屋(西山)常子	本村光節	寄田(吉田)充子	飯盛(古賀)裕美
秋吉成恭	岸川英俊	大賀文博	(高校17)	盛口(山本)紀文	(高校26)	(高校41)
古賀義昭	木下謙次	川口嘉教	金子津奈男	吉本祥二	内海唯史	飯盛宏徳
古賀弘毅	黒岩弘	田中(浜口)茂治	[故]齊藤清一郎	大坪(馬郡)みどり	川副春海	山崎(黒岩)史子
陣内寛	志波保彦	中尾久司	深川義隆	大原(名尾)かおる	田中伸子	(高校43)
徳永誠行	新郷道明	永山重隆	古舘和幸	岡田(渡辺)美知子	橋本(笹川)秀子	熊本仁
平山哲也	田中嘉典	樋口秀利	松尾剛之	永測(小路)万里子	藤(大野)きみ子	濱村宜弘
吉村久夫	西岡孝	山本道久	八百城保信	原田(野口)京子	矢野(田中)律子	松本智弘
荻野(小林)惇子	眞子(眞子)公敏	明石信子	山下拓治	諸岡(副島)美和子	匿名希望 1人	(高校45)
唐島(片江)玲子	松永政治	[故]鈴木(辻)洋子	山内敏博	(高校21)	(高校27)	松尾幸樹
中島(福島)延子	松枝修三	古川(永野)悠紀	吉田紘二郎	北島和久	原口郁哉	(高校46)
牟田口(荒巻)節子	溝口武夫	(高校14)	小原鶴子	田中政敏	(高校28)	碓正隆
(高校7)	南川武夫	杵島隆	原田(森)順子	田原泰明	田中博	(高校49)
佐々木昇三	宮島光典	柴田洋	深川(中島)紀美子	野田雅志	武久晃弘	河村(糸山)亮子
吉島大策	牟田口博司	徳勝秀俊	(高校18)	本村豊	小口(鶴)佐枝子	(高校51)
上村(羽島)満子	米田数英	檜崎進	大坪正明	江口(北島)八千代	坂本(肥山)瞳	川頭裕樹
岸本(梶原)万瑛江	太田(川原田)京子	橋口邦紘	松尾啓一	中村(一ノ瀬)津多子	武田(山田)郁子	(高校66)
小林了子	緒方(太駄)慶子	深町宗孝	村山龍彦	山北(川内丸)郁子	寺西(井手)秀佳	濱村武志
松田(松永)米子	田島(池田)美智子	安川邦彦	吉次(豆田)悦夫	(高校22)	(高校29)	(高校67)
持永(渡島)貴美子	中村(川合)美津子	山岸莊二郎	鶴(陣内)サト子	江頭朋彦	池田洋	濱村風沙
山口(鳥越)道恵	西岡(香田)敏子	一村(腹巻)喜久子	(高校19)	緒方和義	辻豊昭	(本定22)
(高校8)	東(横田)佐久良	岩崎淳子	貝原正洋	金田昌博	土橋敬治	村岡辰弥
[故]安藤清隆	(高校11)	大塚(石丸)博子	堤成太郎	熊井隆光	野口友親	
井手芳穂	井上通正	福島(眞子)治枝	中山伸	宮崎公彦	雪竹稔	
大野雅央	片江俊彦	村木(今泉)佑子	永測俊昭	江口(金丸)泰子	井手(音成)眞喜子	
音成行勇	野口武男	(高校15)	百武(水田)好光	匿名希望 1人	深町留美子	
瀧川晴雄	久本哲義	石本勝昭	村上徹	(高校23)	松浪(西山)裕子	
七島義人	藤尾秀治	板垣(牛丸)修	石井(溝口)雅子	江里口秀次	(高校30)	
西山俊幸	眞子輝雄	伊東弘幸	内野裕子	南里芳幸		

令和5年度黄城会役員一覧

▷会長=古賀正人(高24)▷副会長=徳久英二(高22)井手美保子(高28)
▷顧問=牛島徹(校長)徳永智浩(副校長)江里口和紀(事務長)▷理事=川副富男(高5)佐々木昇三(高7)大野雅央(高8)金丸盛登(高9)牟田口博司(高10)真子輝雄(高11)小柳平一郎(高12)中尾久司(高13)青柳隆(高14)七田義孝(高15)梅崎茂

弘(高16)松尾剛之(高17)村山龍彦(高18)江口武(高19)野田豊秋(高20)坂井正徳(高21)坂井一彌(高22)南里信幸(高23)中山章(高25)川副春海(高26)横尾俊彦(高27)岡正幸(高30)安永正(高31)伊東猛彦(高32)水田信(高33)松尾直人(高35)西岡聖師(高36)梶原聖司(高37)北島清孝(高38)香川弘行(高39)高塚誠(高

40)飯盛宏徳(高41)野田一彦(高42)西田亮(高43)測上史貴(高44)徳重隆仁(高45)吉次篤司(高46)梶原泰宏(高47)田中雅久(高48)上瀧賢治(高49)▷監事=福田智恵子(高26)雪竹稔(高29)真崎俊夫(高34)▷事務局長=平安寺徹(高25)▷庶務=千綿真由美▷会計=田代智子

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長=村上徹(高19)▷副支部長=井手勇人(高31)▷幹事長=井上勇次(高21)▷副幹事長=於保啓子(高30)▷事務局長=川副隆之(高32)

[中京支部]▷支部長=力武勉(高17)▷副支部長=梅谷雅和(高17)▷副支部長=中嶋桂子(高25)▷事務局長=堤淳(高40)▷事務局次長=吉田了(高43)▷会計=真子博行(高39)

[関西支部]▷支部長=深川義隆(高17)▷副支部長=南里種司(高20)▷副支部長=岡本正史(高27)▷事務局

長=内田敏博(高20)

[関門・北九州支部]▷支部長兼事務局長=山口孝美(高29)

[長崎支部]▷支部長=古川正人(高8)▷事務局長=大石太(高10)

[福岡支部]▷支部長=辻正人(高12)▷副支部長=堺八千代(高25)▷幹事長=古賀省吾(高26)▷副幹事長=小林佐登子(高33)▷副幹事長=音成芳和(高36)

[佐賀支部]▷支部長=江里口勉(高16)▷副支部長=梶原千尋(高5)▷副支部長=金丸盛登(高9)▷副支部

長=宮原史枝(高15)▷副支部長=東島慶次郎(高16)▷事務局長=徳久英二(高22)

[唐津支部]▷支部長=鮎川正博(高28)▷副支部長=永測明則(高16)▷事務局長=濱村宜弘(高43)

[多久支部]▷支部長=梅崎茂弘(高16)▷副支部長=飯守康洋(高24)▷事務局長=川測理(高46)

[県庁支部]▷支部長=伊東厚(高35)▷幹事長=塚原弘幸(高35)

令和4年4月～令和5年3月までの物故者(敬称略)

(回期)氏名[住所]

(旧中)

(40)納富 淳[唐津市](40)高田 俊夫[小城市](45)石井 倫平[小城市](46)西山 滋朗[小城市](47)中野 勇[札幌市]

(高女)

(16)水田 スミ子[小城市](20)柴田 サチ[太宰府市](21)田中 ヨシコ[唐津市](23)中尾 キヨ子[伊万里市](23)諸石 クイ[多久市](25)神谷 禎子[静岡市](25)平川 チトセ[小城市](27)中野 知恵子[小城市](27)藤島 ハヤ子[小城市](27)森永 幸子[小城市]

(高校)

(1)南里 逸郎[佐賀市](2)安藤 敏男[春日部市](2)岡本 一行[小城市](2)橋村 正巳[小城市](2)藤瀬 豊彦[小城市](2)山田 浅雄[佐賀市](3)相川 齊美[小城市](3)井上 俊夫[小城市](3)内野 正久[多久市](3)渡島 宏[長崎市](3)西山 和子[福岡市](4)岡本 美代子[小城市](4)川原田 富子[小城市](5)力久 二三枝[長崎市](6)石丸 令子[平塚市](6)野口 登美[佐賀市](7)伊東 義

文[小城市](7)松瀬 スミエ[武雄市](8)安藤 清隆[横浜市](8)岡 浩明[各務原市](8)田中 義人[伊万里市](8)中島 俊彦[小城市](8)松尾 正美[佐賀市](8)吉富 徹夫[佐賀市](8)家永 寿美子[唐津市](8)池田 富子[佐賀市](8)野田 カズエ[佐賀市](8)森上 公子[多久市](8)矢鳴 早苗[神埼市](9)犬山 俊郎[小城市](9)金丸 忠[小城市](10)梶原 達夫[神戸市](10)坂元 英明[君津市](10)中村 延雄[多久市](10)吉岡 悟[小城市](10)吉村 満[大阪府](10)柏木 艶子[豊中市](11)倉富 久仁彦[君津市](11)早田 匡男[小城市](11)城島 智恵[小城市](11)白浜 砂雄[多久市](11)万谷 千里[唐津市](12)浦川 周作[小城市](13)古賀 清登[多久市](13)上野 靖子[佐賀市](13)三溝 美智子[多久市](14)徳久 輝彦[多久市](14)森永 五郎[綾瀬市](14)関口 玲子[鎌倉市](15)古賀 和行[南埼玉郡](15)柴田 洋昭[多久市](15)豊田 俊明[小城市](15)野田 勲[小城市](15)横田 揚成[小

城市](15)辻 裕子[佐世保市](15)吉田 一子[小城市](16)伊東 正芳[小城市](16)中地 登志子[小城市](17)樋口 幸子[佐賀市](18)野田 和良[小城市](18)山口 順蔵[大野城市](18)武藤 明美[小城市](19)飯盛 清和[佐賀市](19)太郎丸 一[佐世保市](19)永測 秀治[多久市](19)永山 順一[小城市](19)山崎 直幹[越谷市](19)小森 光子[佐賀市](20)金子 純子[多久市](21)内田 重人[多久市](23)生部 辰郎[鎌倉市](25)水田 祐子[小城市](29)大隈 政彦[流山市](29)南里 政勝[小城市](29)深町 誠子[小城市](31)南里 洋一[小城市](31)松本 敏彦[小城市](32)寶藏寺 宏樹[多久市](34)江口 英隆[佐賀市](40)池田 聡[佐賀市](68)江口 穂花[多久市]

(定時)

(本定)1)江里口 勤[小城市](本定9)北古賀 敏幸(多定8)奥野 睦美[多久市](多定8)玉井富 順子[神埼市]

一般寄付金

(令和4年4月～令和5年3月)

●高校25回生一同様 3,300円／●高校30回生一同様 2,600円

ご寄付いただきありがとうございます。



令和4年度黄城会本会計決算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(収入)		(単位:円)			
No	費目	当初予算額	収入額	比較増減	備考
1	会費	5,000,000	2,966,000	▲ 2,034,000	会員1,083口より(令和4年度納入分)
2	入会金	2,088,000	2,095,200	7,200	在校生582人より
3	会費寄付金	1,000,000	2,372,837	1,372,837	会員267口より
4	一般寄付金	50,000	24,900	▲ 25,100	高校25回3,300円、高校30回2,600円ほか
5	雑収入	10,000	4,965	▲ 5,035	預金利息等
6	繰入金	0	0	0	
7	繰越金	6,910,971	6,910,971	0	前年度より
合計		15,058,971	14,374,873	▲ 684,098	

(支出)		(単位:円)			
No	費目	当初予算額	支出額	比較増減	備考
1	会報発行費	700,000	588,280	111,720	10,400部
2	黄城会入会費	100,000	99,700	300	卒業生への記念品代
3	支部活動助成費	220,000	219,200	800	全国9支部へ(1,294人分)
4	回期活動助成費	55,000	54,700	300	高24回～高49回の各回期へ(547人分)
5	会費徴収費	1,800,000	1,643,234	156,766	会費・会員寄付金案内書、振込手数料
6	会議費	250,000	15,987	234,013	理事・監事会、評議員会
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	小城高等学校へ
8	支部関係渉外費	900,000	96,140	803,860	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費
9	慶弔費	50,000	25,000	25,000	卒業50周年記念品料、香典
10	補助金(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として
11	基本金	1,000,000	0	1,000,000	
12	運営積立金	50,000	50,000	0	
13	名簿積立金	50,000	50,000	0	
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0	
15	消耗品費	100,000	204,635	▲ 104,635	PC購入、事務用文具等
16	通信費	250,000	250,384	▲ 384	電話料、郵送料、インターネット回線等
17	事務委託費	300,000	267,415	32,585	
18	貸借料	440,000	345,840	94,160	PCソフトウェア、メンテナンス料
19	雑費	100,000	8,970	91,030	小城高校卒業アルバム、振込料、名刺
20	予備費	50,000	0	50,000	
合計		9,485,000	6,989,485	2,495,515	
次年度繰越金		5,573,971	7,385,388	1,811,417	

令和5年度黄城会本会計予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(収入)		(単位:円)			
No	費目	令和5年度	令和4年度	比較増減	備考
1	会費	5,000,000	5,000,000	0	
2	入会金	2,095,200	2,088,000	7,200	在校生より入会金(582人×300円×12月) (1年200人、2年200人、3年192人)
3	会費寄付金	1,000,000	1,000,000	0	
4	一般寄付金	50,000	50,000	0	
5	雑収入	10,000	10,000	0	預金利息等
6	繰入金	0	0	0	
7	繰越金	7,385,388	6,910,971	474,417	前年度より
合計		15,540,588	15,058,971	481,617	

(支出)		(単位:円)			
No	費目	令和5年度	令和4年度	比較増減	備考
1	会報発行費	700,000	700,000	0	
2	黄城会入会費	100,000	100,000	0	卒業生への記念品代
3	支部活動助成費	193,000	220,000	▲ 27,000	全国9支部へ
4	回期活動助成費	51,000	55,000	▲ 4,000	高25回～高50回の各回期へ
5	会費徴収費	1,800,000	1,800,000	0	会費・会員寄付金案内書、振込手数料
6	会議費	250,000	250,000	0	理事・監事会、評議員会
7	母校職員援助費	20,000	20,000	0	職員歓迎会祝儀
8	支部関係渉外費	900,000	900,000	0	支部総会祝儀等、総会時支部来佐旅費
9	慶弔費	50,000	50,000	0	卒業50周年記念品料ほか
10	補助金(一財)黄城教育会館	3,000,000	3,000,000	0	(一財)黄城教育会館へ運営費として
11	基本金	1,000,000	1,000,000	0	会員寄付金
12	運営積立金	50,000	50,000	0	
13	名簿積立金	50,000	50,000	0	
14	退職給与積立金	50,000	50,000	0	
15	消耗品費	100,000	100,000	0	事務用文具等
16	通信費	250,000	250,000	0	電話料、郵送料、インターネット回線等
17	事務委託費	300,000	300,000	0	システム開発
18	貸借料	440,000	440,000	0	PCソフトウェア、メンテナンス料
19	雑費	100,000	100,000	0	
20	予備費	50,000	50,000	0	
合計		9,454,000	9,485,000	▲ 31,000	
次年度繰越金		6,086,588	5,573,971	512,617	

令和5年度(第12期)一般財団法人黄城教育会館予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科	目	令和5年度予算	令和4年度予算	備	考
(単位:円)					
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	5,000	5,000		
	基本財産受取利息	5,000	5,000		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	100,000		
	会館使用料	100,000	100,000		光熱水費使用費分
	受取補助金等	5,430,000	5,450,000		
	運営費補助収入	5,430,000	5,450,000		黄城会(300万)、同窓会館維持費(243万)
	雑収入	6,000	6,000		
	受取利息	1,000	1,000		預金利息
	雑収入	5,000	5,000		
	経常収益計	5,541,000	5,561,000		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	8,825,000	8,580,000		
	給料手当	2,600,000	2,500,000		職員2名分
	法定福利費	30,000	30,000		雇用保険料
	消耗品費	340,000	195,000		文具代、コピーリース料、コピーカウント料
	燃料費	120,000	120,000		ガス代、白灯油代
	光熱水費	1,000,000	1,000,000		電気料、水道料
	修繕費	100,000	100,000		
	通信運搬費	35,000	35,000		郵送料
	手数料	20,000	20,000		水質検査手数料
	賃借料	30,000	30,000		会館敷地使用料
	委託費	900,000	900,000		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	80,000		変更登記料
	火災保険料	160,000	160,000		
	減価償却費	3,400,000	3,400,000		
	雑費	10,000	10,000		
	経常費用計	10,265,000	10,020,000		
当期経常増減額		▲ 4,724,000	▲ 4,459,000		

令和4年度(第11期)一般財団法人黄城教育会館正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科	目	令和4年度予算	令和4年度決算	備	考
(単位:円)					
I	一般正味財産増減の部				
1.	経常増減の部				
(1)	経常収益				
	基本財産運用益	5,000	347		
	基本財産受取利息	5,000	347		基本財産定期預金利息
	事業収益	100,000	51,000		
	会館使用料	100,000	51,000		光熱水費使用費分
	受取補助金等	5,450,000	5,460,850		
	運営費補助収入	5,450,000	5,460,850		黄城会、同窓会館維持費
	雑収入	6,000	676		
	受取利息	1,000	21		預金利息
	雑収入	5,000	655		コピー料
	経常収益計	5,561,000	5,512,873		
(2)	経常費用				
	事業費	1,440,000	1,440,000		
	奨学助成費	1,440,000	1,440,000		小城高等学校奨学生(12名)
	管理費	8,580,000	7,993,329		
	給料手当	2,500,000	2,627,230		職員2名分
	法定福利費	30,000	29,264		雇用保険料
	消耗品費	195,000	114,580		文具代、コピーカウント料等
	燃料費	120,000	25,674		ガス代、白灯油代
	光熱水費	1,000,000	663,570		電気料、水道代
	修繕費	100,000	117,260		
	通信運搬費	35,000	19,015		郵送料
	手数料	20,000	11,000		水質検査手数料
	賃借料	30,000	24,890		会館敷地使用料
	委託費	900,000	789,740		警備、電気保安、浄化槽管理等
	登記料	80,000	44,397		
	火災保険料	160,000	156,520		
	減価償却費	3,400,000	3,368,539		
	雑費	10,000	1,650		
	経常費用計	10,020,000	9,433,329		
当期経常増減額		▲ 4,459,000	▲ 3,920,456		
2.	経常外増減の部				
(1)	経常外収益	0	0		
	経常外収益計	0	0		
(2)	経常外費用	0	0		
	固定資産除去損	0	0		
	経常外費用計	0	0		
当期経常外増減額		0	0		
当期一般正味財産増減額		▲ 4,459,000	▲ 3,920,456		
一般正味財産期首残高		0	136,240,465		
一般正味財産期末残高		0	132,320,009		
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額		0	0		
指定正味財産期首残高		0	0		
指定正味財産期末残高		0	0		
III 正味財産期末残高		0	132,320,009		

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

黄城会の「会費」及び「会員寄付金」の納入について、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。
 会費につきましては、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行（郵便局）』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしております。お一人でも多くの皆さまにご協力いただきますよう、よろしくお申し上げます。
 会費納入については機会あるごとにご協力をお願いしておりますが、なかなか納入が伸びず黄城会の運営が危惧される状況になっておりましたので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金のご協力をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただきます。
 黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、「会費」及び「会員寄付金」の納入について、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
 なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入のお願いが届きましたらご寛恕ください。

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入済みの方、5年会費納入済みの方で5年経っていない方及び今年度に会費を納入されている方を除きます。	※今年度に会員寄付金を納入されている方を除きます。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。
②会費の振込金融機関 1年会費（2千円）は、最寄りの『ゆうちょ銀行（郵便局）又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費（1万円）又は終身会費（5万円）を振り込んでいただけるときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行（郵便局）』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※郵便局からの現金振り込みは、振込料金ではなく「加算料金110円」が必要となっています。（「ゆうちょ口座の通帳」又は「カード」で振り込んでいただく場合は加算金はありません。） ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※「自動払い込み（口座振替）」にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	②ご寄付いただいた方にはお礼状をお届けするとともに、当年度の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載し、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担します。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会費】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
口数	1,332口	1,190口	1,083口
金額	3,760,000円	3,228,000円	2,966,000円

【会員寄付金】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
口数	329口	344口	267口
金額	2,705,000円	2,957,000円	2,372,837円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

事務局の一言

今年の4月よりお世話になっております。
 黄城会総会に参加させていただき、同窓生の深いつながりや歴史に感動致しました。
 一日でも早く皆さんのお役に立てるように努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。（千綿）



お知らせ

令和5年度 支部総会予定日

予定の変更があれば、その都度黄城会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

支部名	予定日	連絡先	電話
関東	令和5年 8/27(日)	支部長 (高19) 村上 徹	090-3084-6866
中京	令和5年 9/16(土)	事務局長 (高40) 堤 淳	090-1728-1894
関西	令和5年 9/17(日)	事務局長 (高20) 内田 敏博	0774-63-6271
福岡	令和5年 10/28(土)	幹事長 (高26) 古賀 省吾	090-8669-4023
県庁	未定	幹事長 (高35) 塚原 弘幸	0952-25-7619 (SAGA2024・SSP推進局)

支部名	予定日	連絡先	電話
佐賀	令和5年 11/18(土)	事務局長 (高22) 徳久 英二	090-9578-4672
関門・北九州	令和5年 11/19(日)	支部長 (高29) 山口 孝美	080-3182-0346
長崎	令和6年 1/28(日)	事務局長 (高10) 大石 太	090-6774-1144
唐津	令和6年 2/4(日)	事務局長 (高43) 濱村 宜弘	080-1725-4591
多久	令和6年 2/11(日)	事務局長 (高46) 川淵 理	090-1083-5846

お知らせ 黄城会会員名簿第10号発行完了致しました。